

令和2年度 都筑区在宅におけるチーム医療を担う多職種研修 実施概要

<p>実施概要</p>	<p>&lt;研修タイトル&gt; 第7回 在宅チーム医療を担う多職種研修          &lt;日時&gt; 令和2年11月13日(金) 19時15分～20時45分          &lt;場所&gt; 都筑公会堂          &lt;プログラム内容&gt;          第1部 新型コロナウイルス感染症における横浜市の取組について          第2部 パネルディスカッション              これからの在宅医療・介護の連携を考える              ～在宅医療と介護における COVID-19 対応の現状と課題～          &lt;参加者&gt;90名  <b>【内訳】</b>          ・都筑区医師会 (6名)・都筑区歯科医師会 (2名)・都筑区薬剤師会 (7名)          ・都筑区内病院 (3名)・都筑区訪問看護連絡会 (7名)          ・都筑区リハビリテーション連絡会 (7名)・認知症連絡会 (5名)          ・都筑区小規模多機能連絡会 (5名)・グループホーム連絡会 (5名)          ・ケアネットつづき本会 (18名)・ケアネットつづき訪問介護部会 (6名)          ・ケアネットつづきケアマネ部会 (4名)・地域ケアプラザ (4名)          ・行政職員 (10名)・その他 (1名)</p>
<p>参加者等の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業者間で、取り組み方や考え方に大きな差があり、情報交換の大切さを知った。</li> <li>・改めて感染対策について振り返り施設内情報共有をさらに行っていきたいと思った。</li> <li>・発熱でコロナが疑われる時、予防・対応・連絡等大切な事が再確認でき連携できることで安心した。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症による各機関の現状や対応などを知ることができ、課題が見えたこと、各機関との密な連携と情報共有の必要性を改めて感じる事が出来た。</li> <li>・多職種で連携しながらご自宅で生活できるよう支援できるよう CM はじめ医療 (Dr. 看護) が中心になりながら各サービスと上手く連携していかなければならないと改めて感じた。</li> <li>・感染対策と利用者に対する安全な支援とは何かを、利用者や支援者と共有していく必要があると感じた。</li> </ul>
<p>研修の成果</p>	<p>COVID-19 対応におけるパネルディスカッションを実施し、各職種が感じている現状と課題の共有を行った。参加者からは、各機関との密な連携と情報共有の必要性を改めて感じた等の感想があり、これからの連携を考える機会を提供できたと考えている。また、センター医師から COVID-19 に関する基礎的な講義を行ったことにより、正確な情報の伝達と今後の情報の収集方法について学んでいただく機会となった。</p> <p>今年度からアンケートを web でも回答できるようにした。回答期限を5日間設けたが、回答率が低かった。</p>
<p>次年度に向けて</p>	<p>パネルディスカッションの時間がさらにあるとよかったとの意見があったため、多職種の意見を知りたいというニーズがあることが分かった。</p> <p>令和3年度は ACP の普及・啓発の取組を推進するため、ACP 人材育成研修を実施予定。</p>

## 令和2年度 在宅チーム医療を担う多職種研修 参加者アンケート報告書

### 1 当日参加者数及び職種別内訳

当日参加者数 **90人**

単位：人（%）

職種	人数	職種	人数
都筑区医師会	6 (6.7)	都筑区歯科医師会	2 (2.2)
都筑区薬剤師会	7 (7.8)	都筑区内病院	3 (3.3)
都筑区訪問看護連絡会	7(7.8)	都筑区リハビリテーション連絡会	7 (7.8)
都筑区小規模多機能連絡会	5 (5.6)	認知症連絡会	5 (5.6)
グループホーム連絡会	5 (5.6)	ケアネットつづき本会	18 (20)
ケアネットつづき訪問介護部会	6 (6.7)	ケアネットつづきケアマネ部会	4 (4.5)
地域ケアプラザ	4 (4.5)	行政	10 (11.1)
その他			1 (1.1)

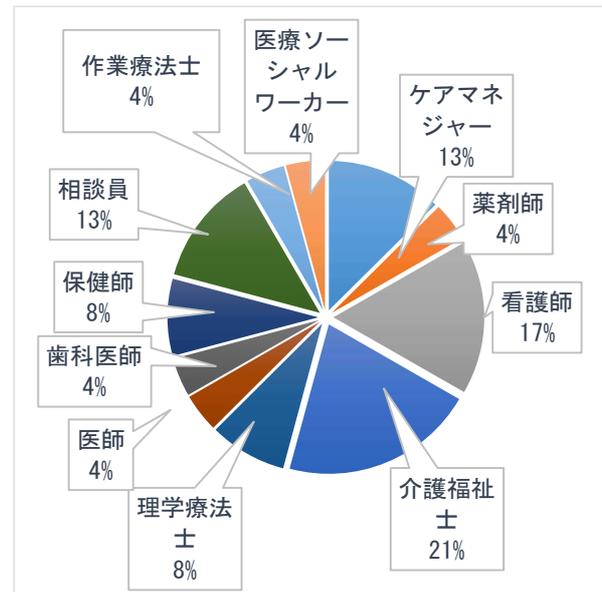
### 2 アンケート集計結果

回答数 **24名** 内Web回答 **9名**（回答率 30%）

#### (1) 職種

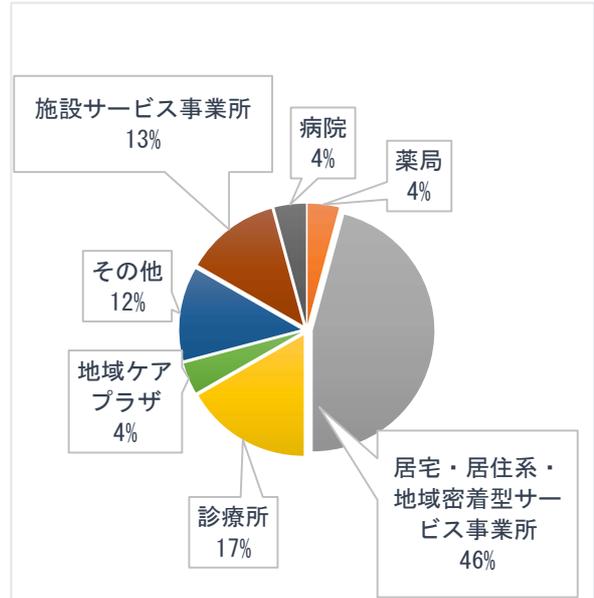
単位：人（%）

職種	人数
医師	1 (4.2)
歯科医師	1 (4.2)
薬剤師	1 (4.2)
理学療法士	2 (8.3)
作業療法士	1 (4.2)
看護師	4 (16.7)
保健師	2 (8.3)
医療ソーシャルワーカー	1 (4.2)
ケアマネジャー	3 (12.5)
介護福祉士	5 (20.8)
ヘルパー	0 (0)
相談員	3 (12.5)
事務	0 (0)
その他	0 (0)



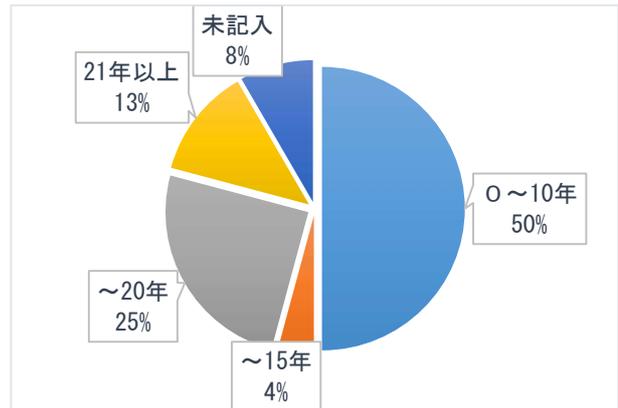
(2) 勤務場所 単位：人 (%)

勤務場所	人数
病院	1 (4.2)
診療所	4 (16.7)
薬局	1 (4.2)
居宅介護支援事業所	0 (0)
居宅・居住系 地域密着型サービス事業所	11 (45.8)
施設サービス事業所	3 (12.5)
地域ケアプラザ (地域包括支援センター)	1 (4.2)
その他	3 (12.5)



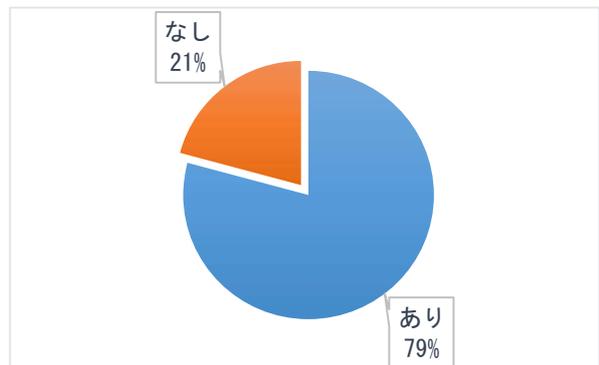
(3) 在宅医療・介護の経験年数 単位：人 (%)

年数	人数
0～10年	12 (50.0)
～15年	1 (4.2)
～20年	6 (25.0)
21年以上	3 (12.5)
未記入	2 (8.3)



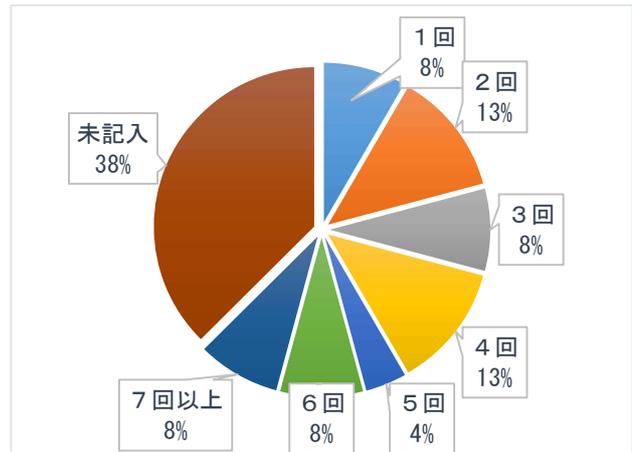
(4) 研修参加の有無 単位：人 (%)

参加経験の有無	人数
あり	19 (79.2)
なし	5 (20.8)



(5) 研修参加回数 単位：人 (%)

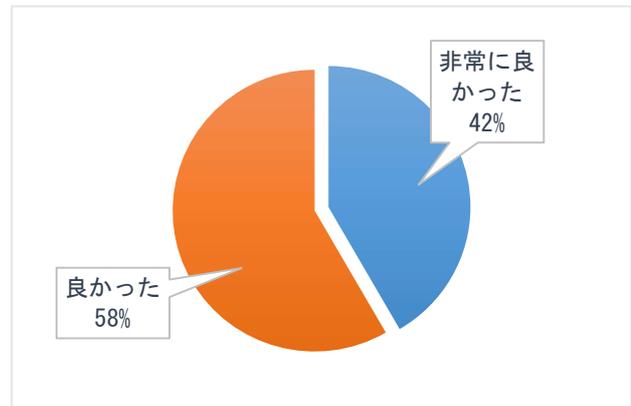
参加回数	人数
1回	2 (8.3)
2回	3 (12.5)
3回	2 (8.3)
4回	3 (12.5)
5回	1 (4.2)
6回	2 (8.3)
6回以上	2 (8.3)
未記入	9 (37.5)



(6) 本日の研修はいかがでしたか

単位：人 (%)

回答項目	人数
非常に良かった	10 (41.7)
良かった	14 (58.3)
どちらともいえない	0(0)
あまりよくなかった	0(0)
良くなかった	0 (0)



<一部抜粋>

※太字は複数意見

【非常に良かった、よかったの理由】

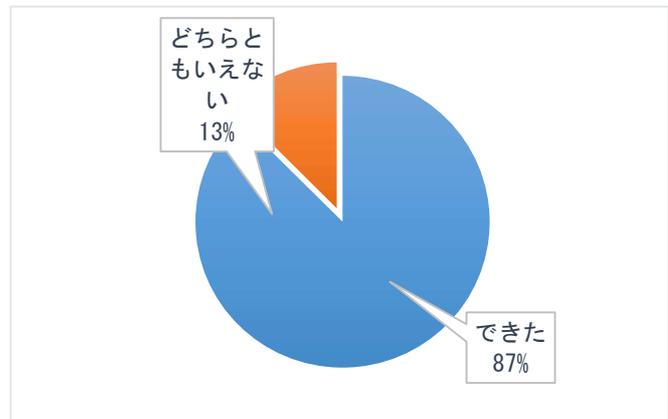
- ・**コロナウィルス感染症による各機関の現状や対応などを知ることができ、課題が見えた。**
- ・各機関との密な連携と情報共有の必要性を改めて感じる事が出来た。
- ・各事業者間で、**取り組み方や考え方に大きな差があり、情報交換の大切さを知った。**
- ・改めて感染対策について振り返り施設内情報共有をさらに行っていきたいと思った。
- ・**パネルディスカッションが良かった。**
- ・日常の仕事の中での対応の困難さや工夫について具体例が出されてよかった。その解決の糸口が見えた。
- ・絶対の答えのないなか全業種が最善をつくすよう努力しているのが感じられた。
- ・不安を抱きながらコロナに対応してきたが、皆で考えながらやってきた事が概ね間違っていなかったと安心する部分もあった。職場の皆へフィードバックしたいと思う。
- ・発熱でコロナが疑われる時、予防・対応・連絡等大切な事が再確認でき連携出来ることで安心しました。
- ・在宅でのコロナ対応をみなさんが悩みながら対応していることを知ることができた。
- ・**先生のお話は分かりやすくパネルディスカッションも各事業所の意見も良く分かった。**
- ・具体的な事例を通して学ぶことができた。明日からの対策に役立ちそう。

- ・非常にわかりやすく、今後のコロナウイルス対策につながるお話を聞けたので良かった。
- ・横浜市の取組はわかりやすく参考になった。
- ・最初の講義では知っている事も多くあったが、‘慣れ’により正しく行えていない事があることに気付けた。
- ・**知りたい内容がわかりやすかったから。**
- ・テーマとしてはとても興味深かったが、後半のパネルディスカッションで、せっかく訪看さんが問題定義をされているのに、それについて議論が深まらず、参考になる提案もなかったため。
- ・もう少し一人一人の話が聞きたかった。
- ・他の職種での困っていること課題がわかった。一方で今回のパネルディスカッションメンバーに保健所の方がいないことが残念。

(7) 本日の研修で、多職種の抱える課題や取り組みを理解できましたか

単位：人（％）

回答項目	人数
できた	21 (87.5)
どちらともいえない	3 (12.5)
できなかった	0(0)



<一部抜粋>

※太字は複数意見

【できた、どちらともいえないの理由】

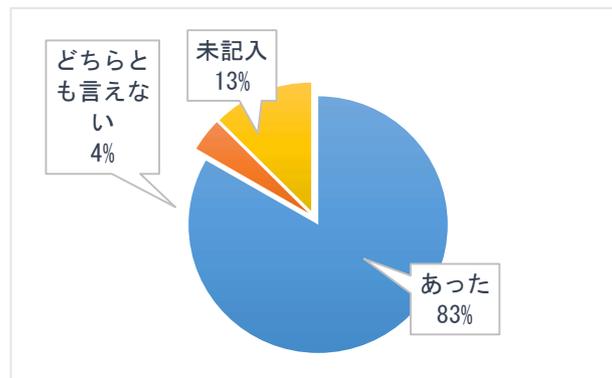
- ・多職種で連携しながらご自宅で生活できるよう支援できるよう CM はじめ医療 (Dr. 看護) が中心になりながら各サービスと上手く連携していかなければならないと改めて感じた。
- ・多職種で協力、情報共有して COVID-19 を乗り越えたいと思う。
- ・コロナの対応、情報共有の差、連携をうまくやる事だと思った。
- ・課題を共有してこれからもどうすべきか考えたい
- ・情報共有が大切だが相談するにはハードルが少々高い。
- ・感染症拡大防止対策をどこまで行うのか悩ましいことも多々あるがこのような事例を通じて取組を考えていきたい。
- ・高齢者が地域で自分らしく生活する為に連携を取る必要である。
- ・多職種の関係の基本を日々の研修の中で気づかれてきたことがわかった。
- ・現場では様々なケースがありその場での判断が難しいことは多いと思います。一方で国 (厚労省) や縣市保健センター等からのガイドライン、対応マニュアルがありそれに基づく対応、相談が必要だと思います。各職種ごとでも事業所ごとにもこれらのマニュアル、ガイドラインをよく精査し理解することが大切。その上で対応の仕方を検討し情報を統一、共有することが大事なのではないかと思います。
- ・コロナ禍において関係者の悩み事が理解できた。

- ・深澤先生からの具体的な話を伺え対応方法が明確にわかった。常にコロナかもしれないという認識をし予防が必要であると思った。
- ・各事業所ごとに感染対策の考え方の違いが見えてきた。
- ・説明がわかりやすかったから。
- ・それぞれの立場でそれぞれの取り組みはある程度理解できた
- ・基準がない事業所による温度差が大きいことや対応を難しくさせている。
- ・困ったことや課題は、よく理解できたが、どの様に解決したか等、具体的なエピソードも聞きたかった。

(8) 本日の研修を受けて、今後の業務に活かせることはありましたか

単位：人（％）

回答項目	人数
あった	20 (83.3)
どちらともいえない	1 (4.2)
なかった	0(0)
未記入	3 (12.5)



<一部抜粋>

※太字は複数意見

【あった、どちらともいえないの理由】

- ・本日のコロナに対する研修を伝達し皆で正しい知識をつけようと思う。予防に対しても意識を高めていきたい。
- ・**感染対策と、利用者に対する安全な支援とは何かを利用者や支援者と共有していく必要があると感じた。**
- ・普段の行動を職場内で互いに確認し合う
- ・コロナに対しての慣れが職員、利用者共に出ているためもう一度気を引き締める良い機会となった。
- ・感染対策及び対処について具体的に知ることができた。各職種が抱える問題に共感した。
- ・**コロナに対し再度考える機会を得られた。**
- ・濃厚接触の定義についてわかりやすかった。
- ・同じような悩みを抱えていることは分かったが、自分がその立場に立った時、どうすればよいかあまりわからなかったから
- ・これからも感染症に注意していきたいと思う。

(9) 次年度以降、本研修で開催を希望するテーマはありますか

- ・ACP 連携
- ・都筑区の行政が描く介護の未来、ビジョンを知りたい。
- ・今回のコロナ対策の今後について

(10) 研修に対する意見・要望・感想

- 多くの課題や困っていることに対して公的に情報を吸い上げて現状の対応策やマニュアル等に反映できるようにより対応を期待します。
- **コロナの中、研修開催にあたり大変なご苦労があったと思います。有意義な研修でした。**
- 横浜市や都筑区の対応で、具体的に高齢者や家族が感染した対応例や想定されうる対応について知りたい。(介護サービス利用している高齢者の家族が感染した場合で高齢者は陰性の場合など)
- パネルディスカッションとするなら各自が 1 回発言しておしまいではなく、提案された問題に対してもっとディスカッションをしてほしい。